

不法投棄根絶を 横断幕手に訴え

亀山衛生組織連

【亀山】亀山市地区衛生組織連合会（橋本茂八会長）は二十七日、不法投棄啓発「クリーン作戦」を実施し、同会員や関係者百五十人が、同市川崎町の国道306号徳原北交差点、同

市東御幸町の旧国道1号栃木屋前交差点など四方所に分かれ、啓発活動をした。

同会は、同市自治会連合会、同市婦人会、同市内事業所などから約百人が登録している。昭和五十二年同会発足後、年に一度、同市安坂山町の観光地「石水溪」などでごみ拾いをして

いたが、平成二十一年から、不法投棄根絶運動に切り替えた。

同市関町木崎の国道1号木崎交差点では、橋本会長ら四十五人が「不法投棄を根絶しよう」の横断幕を手を持ち、「不法投棄をなくそう、やめよう、見逃さない

いようにしよう」と走行するドライバースらに、呼び掛けた。

橋本会長は「エコポイントの終了や地デジに移行することで、家電製品の不法投棄が増えそう。目を光らせて監視します」と話していた。



横断幕とのほりを持ち不法投棄啓発をする参加者らII
亀山市関町木崎で